

地道に呼びかけ300人分

ジョギングやサイクリングで語りかけます。

中高生らも

を楽しむ人、散歩の人が行き交う東京都東村山市内の多摩湖へとつづく遊歩道。その交差点近くで「2000万人署名 戦争法廃止！」の手作りプラスタ―をもって、宮本芳夫さん(68) 年金生活者 〓はよびかけます。

「憲法違反の戦争法廃止の署名です。いかがですか。年齢制限はありません」。肉声

広げよう 2000万署名

近くの喫茶店から3人でできた主婦は「日本が戦争に協力したら、息子が自衛隊に 〓もっていかれるかもしれない。安倍さんは明治時代に戻そうというのか」などとそわそわって署名をしました。

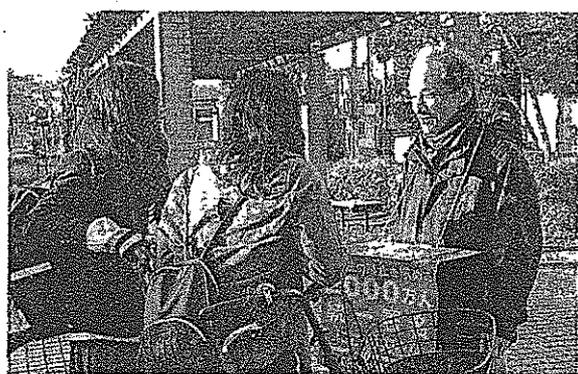
自転車を止めてペンをとったのは、女子の高校生(16)と中学生(14)。高校受験の中学生に友人の高校生が協力しているとのこと。「戦争を体験した人が少なくなっていくのが恐ろしい。また同じことが起きるかもと、学校で友達と話している」といいます。

宮本さんは16日、午前と午

東京・東村山 宮本芳夫さん(68)

後、3時間半で20人の署名を集め、通算で297人になりました。

「私は気が短くてせっかちなんだけど、この署名ばかりは地道によびかけて、自分



署名をした高校生と話し合う宮本芳夫さん(右) 〓 16日、東京都東村山市

でやるしかないと思っただけです。結果は1時間やって集まらないときもあるが、その次には10人集まるときもある。生協店の前でやっていたら女性の職員の方が出てきて『いつも買物に来ている方ですね。がんばってください』と声をかけてくれたり。署名を始めてから人生、勉強です」と話します。

一人で行動
いろいろな人がいて「共産党じゃないなら署名してもいい」と言う人に「私は共産党じゃありませんが、共産党だと問題ありますか」というと、「いや、そういうわけじゃないけど」といって署名をしてくれた人もいました。宮本さんは「口にはしませんが、共産党がいいとか悪いとか言っている場合じゃない。

安倍首相とどっちをとるのか」といってはっきりしている」といいます。
「昨年5月ごろまでは何もしていませんでした」という宮本さん。ただ言論・集会の自由は守りたい、自由のない全体主義には反対と思っただので、安倍自公政権が戦争法案を国会に提出するとして、たときから国会前の行動に。総がかり行動実行委員会の戦争法廃止の統一署名ができる」と、参加していた9条の会から署名用紙を1枚もらい、一人での行動を始めました。
「解釈改憲につづいて、安倍首相は『緊急事態条項』で憲法改悪をいはいはじめた。このときに野党共闘に反対するような政党は生き残れないでしょう。新しい政府をつくって政治を変えなければ」。宮本さんは話します。